従業者向け　児童発達支援評価表（集計結果）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・午前、午後やプログラムに応じて活動スペースを確保するよう努めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・法令で定められた適切な人員を配置し、利用する子どもたちに合わせた療育が行われるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・子どもたちの安心、安全が守られるよう工夫をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・子どもの動線を考え、身の回りのことをスムーズに行うことが出来るような環境設定に努めている。 ・毎日の清掃、消毒、空気清浄機の設置等、感染症対策にも力をいれている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7		・状況によって、パーテンションを置き個別で集中できる環境を整えている。 ・その時々の子どもの姿に合わせて使い分けるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・職員同士で連携を図りながら支援内容に取り入れている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者様からのご意見やご意向がある際には、職員間で情報共有し、改善に繋げていけるように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間での話し合いの場を多く設けることで、一人ひとりの子ども理解を深めたり、支援内容の理解や注意事項の確認等を行っている。	職員全体での話し合いの機会がもっと定期的に設けられると良いと思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・現時点では第三者評価は実施できていない。	今後の検討課題として検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修を紹介して頂いたり、受講する機会を頂いておりありがたいです。	・専門的支援についての研修の機会がもっとあるといいと思う。 ・外部での研修にも参加してみたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7		・その子の状態に合わせた支援プログラムを作成し、丁寧に説明するように心がけている。	保護者様へどのような内容を取り入れているのか等は伝えるようにしているが、もう少し具体的な見える化が出いるように工夫していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		利用開始の際はもちろんのこと、保護者様との面談を定期的に行いその子のニーズや課題にを把握したうえで支援計画を作成するように努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・子どもの困りや成長、どのような支援が適しているのか等相談しながら取り組めるよう心掛けている。 ・成長をかっじた事、新たな課題などを踏まえ、話し合いを行えるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・支援で工夫した部分や結果等助言をし合いながら次に生かせるように努力している。 ・変更点を含め、しっかりと情報共有をできるように努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・標準化されたアセスメントシートをしようしている。また、日々の丁寧な観察及び、保護者様にも記入していただくチェックシートを使用する等、一人ひとりの子ども理解に努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・それぞれの子どもの課題の整理を行い、課題に合わせて具体的な支援計画を作成できるようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・職員間で話し合いの時間を設け、それぞれの子どもに合ったプログラムが作成されるよう努めている。	もっと一人ひとりが意見を出し合えるといいと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・マンネリ化しないように新しいことを取り入れるようにしている。試してみて、上手く行かなかったことは共有して、改善策を考えるようにしている。 ・併設する園の担任とも密に連携を図ることで、プログラムも個に合う内容になっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・こども園に併設していることで、集団の中での個別支援も行う事ができている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		丁寧な支援が行えるよう職員間での情報共有、共通理解のための打ち合わせを大切にしている。 ・役割分担、時間配分等を共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・気づいたことや課題等、こまめに情報共有を行うようにしている。全体というより、それぞれで行っていることが多い。 ・支援を行った職員からの報告がしっかりとあることで、子どもの育ちも把握しやすい。 ・その日の子どもの行動を振り返り、対応が適切であったか、うまくいったこと、行かなかったことを話し合い、より良い支援が行えるように努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・連絡帳の記録にて本児の姿、支援内容等は丁寧に記録するようにしている。個人の記録はもっと生かしていけるように努力していきたい。 ・上手く行かなかったこと、悩んでいることを伝え合い、支援方法を改善するようにしている。	・記録する職員によって業務時間に差があることが課題であるため、要点を押さえたまとめ方等検討会を行い、よりわかりやすい記録作成が行えるよう努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的（６か月以内）にモニタリングを実施し、これまでの成長や今後の課題について把握をし、支援計画の見直しをおこなっている。	
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管、支援員、こども園の担任等、その子をよく 理解した者が参画できるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・なかなか連携する体制が整えられていない。 ・園との併設の為、保育との段差が無いように情報共有、連携を図っている。	関係機関と積極的に情報共有、相談を行い、連携した支援が行っていけるよう改善していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・必要に応じて支援内容の情報共有、相互理解を図っている。 ・こども園に併設している良さを生かしながら、担任の先生とも情報共有をしている。また、集団、個別の取り入れ方も連携を図り、子どもたちのペースで行えるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・小学校との情報共有や相互理解は図れていない。	・園の先生と密に連携をとり、情報共有することで、就学相談等に繋げていけるようにしていく。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

この連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		7	・助言等受ける機会は設けられていない。	・現状は機会を設けられていないため、今後の検討課題として検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・こども園に併設していることで、積極的に交流の機会を取り入れることができている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・子どもの頑張りや成長等を、お迎えの際や連絡帳等でできるだけこまめにお話しできるようにしている。	・時々、思うように伝わっていない事もあるため、伝え方の工夫や家庭での様子についても等も適度に伝え合う関係づくりの必要性を感じる。保護者様の状況に合わせた、伝え方を工夫していきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・研修の機会は設けられていないが、面談時やお迎え時に助言や支援が行えるように工夫している。	・研修の機会はもてていないが、今後は保護者様のご意向に沿いながら検討していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に丁寧な説明をおこなっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7		・定期的な面談の機会を設け保護者の方の意見を聞き、支援計画に反映していけるようにしている。 ・こちらの思いばかりにならないように、保護者様の話を聞く姿勢を心がけている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・丁寧に児童発達支援計画の内容の説明、 具体的な支援の方法の説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・送迎時等に相談があった際には、内容に応じて面接の機会を設けたり、助言を行うようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	・保護者同士で交流する機会は設けられていない。	・交流に対して抵抗感を抱かれている保護者様もいらっしゃるため、保護者様のご意向に沿いながら検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・申し入れがあったことに対してはすぐに報告をし、解決できるようにしている。 ・児発管との連携も密にとれており、適切に対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	4	・連絡帳や口頭でのお知らせにとどまっている。	今後は通信を作成したり、工夫していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報については、管理カメラのある部屋で保管し、書類等を破棄する場合にはシュレッダーを使用する等、細心の注意をはらっている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・できるだけわかりやすい言葉で説明するよう心掛けたり、直接表情を見ながら話が出来るように工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・地域住民の方を招待する等の行事計画は出来なかった。	・現状は実施できていないが、今後は保護者様のご意向に沿いながら検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・様々な災害を想定し、計画を立て訓練を行う事でどの職員も同じように対応出来るよう努めている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP計画を策定し、様々な対策を行うと共に、月に１回訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・予防接種の事までは把握できていなかった。	・保護者様に十分に確認を行い、職員で共通理解を図っていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・現在アレルギーの子の利用はなし。 ・アレルギー対応が必要な子が利用する際には、全職員で情報共有を行い、適切に対応していく。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・子どもたちの安心、安全が守られるよう工夫をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7		・契約の際に丁寧な説明が行えるよう努めている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・危険な場面、こちらの不注意で起きた事はしっかりと報告、周知し、再発防止に努めている。 ・職員間出統一した対応ができるように周知している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止のため、定期的に職員間で話し合いを行ったり、 支援中にも声を掛け合うなど、全職員が虐待への意識をもって 支援に入れるよう努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			・該当利用児なし	